



創造・感謝・勤労

# 飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成30年9月19日 No. 12

発行責任者 校長 池 浩幸

学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

## 【16日(日)の体育大会! 一所懸命に頑張った!

### 3年生のリーダーシップのもと、仲間と学び、共に励まし合い、

### そして、高まりあった!!】

16日(日)、前日から心配された天気も回復し、爽やかな秋晴れの中、第21回体育大会が実施されました。10日間あまりの短い練習日程の中、「敢為邁往(かんいまいおう)! ~自分を信じて突き進め~」のスローガンのもと、「やる時にはやる! 思い出に残る体育大会」を生徒一人一人が自ら実行し、感動できる素晴らしい体育大会を行うことができました。

様々な競技の中でも特に、各学年とも全員リレーは大変な盛り上がりでした。閉会式でも紹介しましたが、スタートから誰ひとり手をゆるめず、少々差が開いても最後まで決して諦めず、アンカーまで全力勝負、一生懸命に走りました。特に3年生は、このメンバーでバトンをつなぐのも最後となる体育大会です。みんなの思いが一つになりました。お疲れさまでした。

部活動紹介では、各部とも3年生を先頭に威風堂々とした行進に、夏の大会やコンクール、発表会などで活躍した熱い感動がよみがえってきました。これまで顧問の先生方の熱心なご指導と、保護者の皆様方の温かい愛情とご支援をいただいで、逞しく健やかに成長する事ができました。特に3年生の部活動に対する姿勢は下級生への手本として、受け継がれています。この飛幡中学校の伝統を絶やすことなく、これからも引き継いでほしいと思います。

### 御 礼

敷地内の巡回や来賓受付、トイレ掃除やごみ拾い等の会場の後片付けでは、PTA 役員をはじめ保護者の皆様などがお手伝いに参加していただきました。ありがとうございました。おかげさまで無事に体育大会を終えることができました。ご協力に心より感謝申し上げます。

あわせて、保護者・地域の皆様方には、日頃より本校教育活動へのご理解と温かいご支援を賜り誠にありがとうございます。今後とも職員一同、学校と家庭、地域の絆を大切にしたい学校づくりに努めてまいります。よろしくお願いいたします。

希望者は担任の先生へ。ご協力お願いします。

別冊 ドウ☆アツ☆ボランティア in Kita! Q (ボラ☆ステのボランティア情報)

## 市民ふれあいフェスティバル

主催 北九州市社会福祉協議会

市民ふれあいフェスティバルは、市内で活動するボランティア・市民活動グループが一堂に集う「ボランティアの祭典」です。ボランティア活動の市民啓発、ボランティア相互の交流、ウェルとばた地域のにぎわい創出などを目的に毎年開催しています。(HPより)

平成30年10月28日(日)

活動場所 ウェルとばた(戸畑区汐井町1-6)



□活動内容と活動時間

◎赤い羽根共同募金

[A]9時00分~12時30分

[B]11時30分~15時30分

□活動内容と活動時間

◎スタンプラリー(補助)と会場案内

[C]9時00分~12時30分

[D]11時30分~15時30分



※上記の活動は、定員になり次第、申し込みを締切ります。

募集定員 12名以上 各中・小学生以上

申込締切 10月6日(土)

## 空気にあらがう

日本人の集団の意思というものは、時に偶然に醸し出された場の“空気”によって支配されることがある。

たとえば、学校や職場でしばしば見られるいじめの発生もそうであらう。いじめる人といじめられる人が存在し、そして、そこにいじめを見ている多くの人がいる。

見ている人たちの心中には葛藤がある。いじめは反対、けれども告発して、自分がいじめられる側に回るのはいやだ。ならばいじめる側になるか。いや、それでもない。

そうしたそれぞれの葛藤が、結局、傍観者でいようという決断になれば、いじめを許容する空気が生じるわけである。

日本人は物事を決める際、互いの顔色を窺い、あるいは事前に根回しをして事をスムーズに運ぼうとする。KY(空気が読めない)という言葉がはやったのも、老若問わず、総意に従うのを是とする心情からであらう。

それは悪いことではない。だが、人として望ましくない空気には、あえて空気を無視し、あらがう人が必要なのではないだろうか。それが自分である勇氣を持ちたい。(PHPより)